

TycoonNet.

TVB01

ユーザーガイド



TVB01ユーザーガイド

Copyright©2010

無断転載を禁止します。

TVB01ユーザーガイド

このマニュアルには、TVB01 を設定して使用できるようにするための説明が記載されています。このマニュアルに記載される情報の正確性については万全を期しておりますが、将来予告なく変更される場合があります。

このマニュアルの一部、または全部を弊社の文書による許可なく複製したり、保存システムに保管したり、または電子的、機械的、フォトコピー、記録、その他いかなる方法によっても転送することを禁止します。

商標

このマニュアルに記載される製品名は識別のみを目的としており、各社の商標です。

Windows 7 Home Premium、Windows Sound SystemはMicrosoft Corporationの商標です。

Intel® およびIntel® ATOM™ はIntel Corporationの登録商標です。

Sound Blaster、Sound Blaster ProはCreative Technologyの商標です。

このマニュアルに記載されているその他すべてのブランドまたは製品名は各社の商標または各社の登録商標です。

FCC規定

安全とお手入れについて

コンピュータの扱いに慣れた方も、安全とお手入れに関する注意を最後までよくお読みください。この情報はお客様とコンピュータを危険から保護するのに重要です。

安全に関する重要な注意

このセクションでは、TVB01を安全な環境で使用するための情報を詳しく説明します。以下の注意に従って、状態の性能を維持してください。お客様の安全のために、この章の説明を最後までお読みください。

1. これらの安全の注意をよくお読みください。
2. このマニュアルはいつでも参照できるように保管しておいてください。
3. TVB01のスクリーンの外側のカバーはガラス製です。TVB01を落としたり、強い衝撃を与えたりすると、このガラスが破損する場合があります。ガラスが破損した、またはひびが入った場合は、破損したガラスに触れたり、これを除去したりせずに、直ちにTVB01のご使用をおやめください。誤使用または濫用によるガラスのひび割れは、保証の対象外です。
4. この製品は湿度の高い場所には設置しないでください。
5. 風呂、洗面所、台所のシンク周り、洗濯用洗い桶、濡れた床、プールの近くなど、この製品を水場でご使用することはおやめください。
6. この製品は安定した場所に設置してください。落とすとケガの原因となります。
7. この製品に記載されるすべての注意と警告に従ってください。

8. ケースを外した状態で TVB01 を操作することはお止めください。安全のために、この製品の補修は専門のサービス技術者に依頼してください。
9. この製品を補修または解体するときには、必ずすべての電話回線と電源コードをコンセントから外してください。電気ショックや火傷の危険性がありますので、電源コードをコンセントから外し、内部システムのコンポーネントが十分に冷却されてから触れるようにしてください。
10. 次のような場合には、専門のサービス技術者に補修を依頼してください。
 - 電源コードまたはプラグが故障または摩耗しているとき。
 - 製品内部に液体がこぼれたとき。
 - 製品が雨や水に濡れたとき。
 - 操作手順に従っても正常に製品を操作できないとき。操作の手順が記載されているコントロールしか調整できません。その他のコントロールを不正に調整すると故障の原因となり、さらには専門技術者による補修が必要となりかねません。
 - 製品を落としたとき、またはキャビネットが破損したとき。
 - 製品の性能に著しい変化が見られた場合は、補修の必要があります。
 - 製品に明らかな破損があるとき。
11. この製品は、最高 40°C の環境で操作することができます。
12. ポリマー電池は壊れやすいため、別の電源アダプタで充電すると火災や爆発の原因となります。
13. この製品はラベルに記載されている電源でしか使用することができません。電源タイプが分からない場合は、販売店またはお近くの電力会社にお問い合わせください。

-
14. この TVB01 で使用が認められる電源アダプタだけをご使用ください。
 15. この製品をラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他熱を発する装置 (アンプ等も含みます) の近くで使用しないでください。
 16. 長期間 TVB01 をご使用にならない場合は、一過性の過電圧によるダメージから保護するために、コンセントから電源を外しておいてください。
 17. 製品内部にペーパークリップやホッチキスの芯などの小さい金属が入ると、発火の危険がありますので、製品からダミーカードを外さないでください。
 18. この製品を延長コードに接続する場合は、同一コードに接続されている機器の合計アンペア数とその延長コードのアンペア数を超えないようにご注意ください。またコンセントに接続する全製品の合計電圧数がフューズの値を超えないようにしてください。
 19. この製品の通気口やスロットに異物を詰め込むと、内部の高電圧部に触れたり、内部パーツがショートしたりして、火災や電気ショックの原因となり大変危険です。この製品に液体をこぼさないでください。
 20. お手入れ前にコンセントから電源を抜いてください。液体クレンザーやエアゾールをご使用にならないでください。お手入れの際は、乾いた布をお使いください。システム内部に液体が入らないようにしてください。

電池(ポリマー)

バッテリー



火の中に投げ込んだり、解体したりしないでください。爆発や有毒物質が流出する恐れがあります。ショートさせると、火傷の原因となり危険です。

注意:

1. 下記の注意は、補修と操作ガイド、またはバッテリーのラベルに記載されています。
2. **バッテリーの交換。** TVB01に装着されている充電式バッテリーの交換は、メーカーが専門で行います。バッテリーは正しいタイプのものを使用しなければ、爆発する恐れがあります。
3. バッテリーを火の中に投げ込まないでください。

電源アダプタ



室内用です。



情報技術機器と使用できます。



電気ショックの原因とありますので、内部を開かないでください。

電源コードセットの要件

- 認証された電源コードをお使いください。
- ご使用になるソケットおよび延長コードが、接続したすべての機器の合計電流以下であることを確認してください。
- コンピュータのお手入れをする前に、外付け電源（ACアダプタなど）からコンピュータを外してください。
- TVB01に付帯されている電源コードセット（アプライアンスケーブル、フレキシブルコード、コンセントプラグ）は、購入された国における使用条件を満たしています。
- 外国で電源コードセットをご使用になる場合は、その国における使用条件を満たしたものをお使いください。電源コードセットの使用条件については、現地の認証販売店、リセラー、サービス店へお問い合わせください。
- 電源コードは特にプラグ、ソケット、および製品への取り付け部分を踏みつけたり、はさんだりしないようご注意ください。

FCC (Federal Communications Commission) 規定、第15条

この装置は、FCC規定の第15条に準じ、Class Bデジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。

本装置はラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがって使用されない場合、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証はいたしかねます。この装置がラジオやTV受信装置に有害な障害を与える場合は、障害を取り除くために以下の方法にしたがって操作してください。

--受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。

--この装置と受信装置の距離をあげる。

--この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する。

--ディーラーもしくは経験のあるラジオ/TV技術者に問い合わせる。

警告： このコンピュータを文書による許可なく、無断で修正したり、改造したりすることはできません。無断で改造した場合は、この製品を使用する権利が失われます。

このデバイスはFCC規定の第15条に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作を行うことができます。

- (1) このデバイスが有害な障害を発生しないこと。
- (2) 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

FCC 無線周波被爆

FCC 無線周波被爆ステートメント：

警告： ラジオやテレビ受信機の混信を防止するために、このコンピュータでは指定されたシールド付き電源コードとシールド付き信号

ケーブルを使用してください。これ以外のケーブルを使用すると、ラジオやテレビ受信機に干渉を与える場合があります。

1. この通信機器は、コロケーションコンプライアンス要件に準拠していることを証明済みです。この通信機器は他のアンテナや通信機器と合わせて設置したり、操作したりすることはできません。
2. この機器は放置された環境における使用について制定された、FCC無線周波被爆制限に準拠しています。この装置は、膝の上に持って装置の背面が人体に直接接触した状態で操作した場合を想定してテストされています。FCC無線周波被爆コンプライアンス要件に準拠するために、通信中に通信アンテナに直接接触しないでください。

この機器は放置された環境における使用について制定された、FCC無線周波被爆制限に準拠しています。この装置は放射体と使用者の距離が最低20センチ以上離れた状態で設置、操作しなければなりません。

15.247 (b)(4)、EUTは委員会のガイドライン(1.1307、1.1310、2.1091、2.1093)を超えるレベルの無線周波エネルギーに被爆しない状態で操作することが義務付けられた条件に準拠しています。

5.21 規定/免責事項

このワイヤレスLAN機器の設置と使用は、製品に付帯されるドキュメンテーションの指示に従って行わなければなりません。メーカーが許可しない方法でこの製品(アンテナを含みます)に変更または改造すると、この製品を使用するユーザーの権利が失われます。この製品を不正に改造した、またはメーカーの指定しない接続ケーブルや装置を使用したことにより生じた無線またはテレビへの干渉については、メーカーは一切責任を負いません。このような不正な改造、代替品の使用または追加による干渉は、ユーザーの責任において修

正するものとします。製造元およびその正式な販売店、またはディストリビュータは、ユーザーがこれらのガイドラインに準拠しなかったことにより生じたいかなる故障についても、また国の規定への違反についても一切責任を負いません。

シールドケーブルの注意

本製品にほかの装置を接続する場合は、国際規定に準拠するためにシールド付きのケーブルをご使用ください。

周辺機器の注意

この装置にはClass B 規定に準拠した周辺機器 (入力装置、端末、プリンタなど) 以外は接続しないでください。規定に準拠しない周辺機器を使用すると、ラジオや TV 受信装置に障害を与えるおそれがあります。

次の機器 : TVB01



VCCIの指示

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

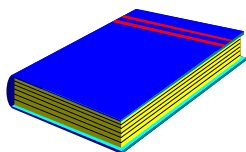
VCCI-B

TVB01について



TVB01をお買い上げいただきありがとうございます。このTVB01はどこへでも携帯できる便利な装置です。メモパッドと同じようにお使いください。メモを書いたり、スケッチしたり、素材を見たり、すべてスクリーン上で直接行えます。

ユーザーガイドについて



TVB01ユーザーガイドへようこそ。このマニュアルには、TVB01を最大限に活用いただくための情報が記載されています。最後までよくお読みになり、TVB01とその機能に慣れてください。

このマニュアルは、5つの章に分かれています。

- | | |
|-----|------------|
| 第1章 | はじめに |
| 第2章 | はじめましょう |
| 第3章 | TVB01の使い方 |
| 第4章 | 周辺機器の接続 |
| 第5章 | TVB01のお手入れ |

※当マニュアルについてのご不明な点につきましては、当サイトのサービスをご確認頂きお問い合わせ下さい。

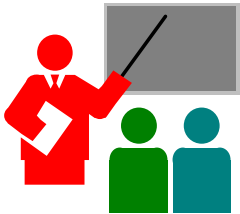
目次

TVB01について	11
ユーザーガイドについて	12
1 はじめに.....	15
1.1 主な機能	16
1.2 TVB01の正面	18
<i>TVB01のLEDステータス インジケータ</i>	20
1.3 TVB01の右側	22
1.4 TVB01の左側	24
1.5 TVB01の背面	26
2 はじめましょう.....	29
2.1 電源の接続	30
2.2 TVB01の起動	31
<i>TVB01をオンにする</i>	31
<i>タッチスクリーンの使い方</i>	32
2.3 デバイスドライバのインストール	32
<i>光学ディスクドライブからWindows 7をインストールする</i> ...	33
<i>すべてのデバイスドライバのインストール</i>	33
3 TVB01の使い方	37
3.1 機能制御を行うスクリーン ホットキー ユーティリティ	38
<i>特殊機能コントロール</i>	38
<i>スクリーンの回転について</i>	40
3.2 スクリーンディスプレイの構成	41

有効なディスプレイ構成.....	41
4 周辺機器の接続	43
4.1 USBポートの使い方	44
4.2 SIMカードスロットの使い方	45
SIMカードの挿入と取り出し	45
4.3 外付けオーディオシステムの使い方	47
4.4 ワイヤレスLANの使い方	48
5 TVB01のお手入れ	49
TVB01のクリーニング	50

※4.2のSIMカードにつきましては、オプション搭載品のみの御対応となります。

1 はじめに



このTVB01は薄型で軽量の設計となっているため、旅行の際にも持ち運びに便利です。TVB01を携帯することにより、いつでもどこからでも、企業のネットワークや電子メールにアクセスすることが可能になります。

TVB01は学校、自宅、旅行、その他あらゆる場所で使用するのに適しています。

1.1 主な機能

TVB01の各パーツを説明する前に、TVB01の主な特長を説明します。

プロセッサ

- このコンピュータには、512KB L2キャッシュが統合されたIntel® Atom™ N550プロセッサが搭載されています。
- Windows 7 Home Premiumなどのオペレーティングシステムに基づいたPCソフトウェアのライブラリ全体に完全対応していません。

メモリ

このTVB01には、最大2GBまでのDDR3-667 SDRAM 204-pin SODIMMモジュールを装着するためのメモリスロットが1つあります。

タッチ操作対応ワイドスクリーン

指先操作に反応するキャパシタが備えられた、優れた10.1" 1024 x 600 (16:9)ワイドスクリーンディスプレイがあります。

WiFi

IEEE 802.11 b/g/n、USBおよびPCI-Eインターフェイスが付いたハーフサイズのMini Card。

Bluetooth

USB 2.0インターフェイスが付いたBluetooth機能を提供します。

ウェブカメラ

2.0Mピクセルのウェブカメラ機能を提供します。

グラフィックシステム

Intel NM10 PCH/Intel Atom N550プロセッサ搭載のグラフィックコントローラを提供します。

USB 2.0

I/Oデータ通信用にUSB2.0ポート2つが提供されています。

オーディオシステム

Intel HD Audio (Azalia 2チャンネル) に準拠しています。

シリアルATA (SATA) コントローラ

最大3.0 GB/秒 (300MB/秒) までのデータ転送速度に対応しています。

Flash BIOS

Flash BIOSはPhoenix Flashユーティリティを使用することで、簡単にSystem BIOSをアップグレードできます。

電源およびシステム管理

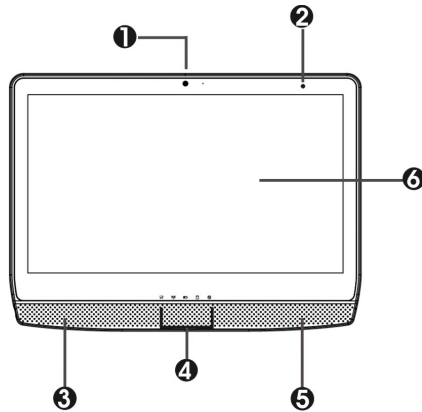
- 使用していないコンポーネントの電源を切る、システムチップセット上のIntegrated SMM (システム管理モード) が電力消費量を低減します。電源管理を行うには、マウスをWindowsのコントロールパネルに合わせると表示される[電源オプションのプロパティ]でパラメータを設定します。
- BIOS SETUPプログラムに含まれるシステムパスワード (ユーザーとスーパーバイザー) により、コンピュータへの不正アクセスを防止します。

重量と寸法

- 850g
- 250(W) x 183(D) x 17(H) mm

1.2 TVB01の正面

TVB01の各サイドにはさまざまな機能が付いています。まずシステムの正面から説明します。以下のセクションで、正面にある各機能を説明します。



- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. ウェブカメラ | 2. 内蔵マイクロフォン |
| 3. 内蔵ステレオスピーカー | 4. LEDインジケータ |
| 5. 内蔵ステレオスピーカー | 6. タッチ操作対応ワイドスクリーン |

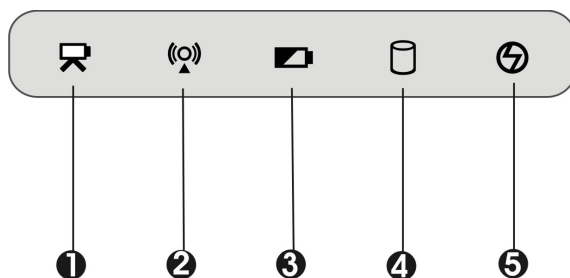
- **ウェブカメラ**
内蔵カメラを通信機器として使用することにより、画像や動画を撮影したり、ビデオチャットをしたりすることができます。ビデオチャットを可能にするために、2.0Mピクセルで、ネットワークを介して即座に映像を転送します。
- **内蔵マイクロフォン**
内蔵マイクロフォンは、内蔵ウェブカメラと合わせて使用する場合、サウンドと音声を受信します。
- **内蔵ステレオスピーカー**
マルチメディア プレゼンテーションのサウンドやミュージックを出力するための左右ミニステレオスピーカーが搭載されています。

TVB01ユーザーガイド

- LEDインジケータ
TVB01の現在の電源状態や作動状態を知らせます。ステータスアイコンの説明は、このセクションで説明します。
- タッチ操作対応ワイドスクリーン
このデバイスにはタッチスクリーンが搭載されています。作業エリアは指先で調整できます。タッチスクリーンは指先で行うコマンドに反応します。
 - < キャパシタ付き10.1" 1024 x 600 (16:9)ワイドスクリーンディスプレイ。
 - < いずれかのサイズのパネルでも1,600万色 (32ビットフルカラー) を表示。
 - < LCDディスプレイコントロールの輝度は調整可能。
 - < LCDと外付けデスクトップコンピュータのモニタへの同時ディスプレイ。

TVB01のLEDステータスインジケータ

TVB01の現在の電源状態や作動状態は、ステータスLEDパネルで知ることができます。各LEDにはシステムのステータスを知らせるアイコンが示されます。



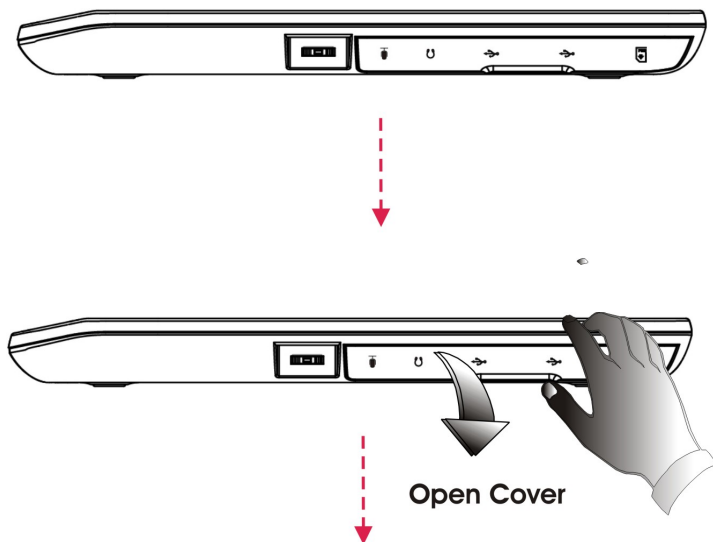
1. ウェブカメラ インジケータ
2. WiFi/Bluetooth/3Gアクセス
3. バッテリー充電LED
4. ドライブアクセス
5. 電源インジケータ

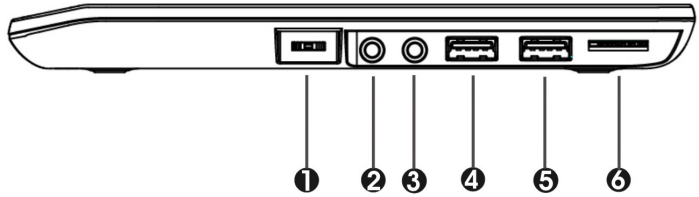
- ウェブカメラ インジケータ
LEDが白く点灯しているときには、ウェブカメラ モジュールがアクティベートされています。LEDが消えると、この機能が無効になっていることを示しています。
- WiFi/Bluetooth/3Gアクセス
LEDが白く点灯しているときには、WiFi/Bluetooth/3Gアクセスがアクティベートされています。LEDが消えると、この機能が無効になっていることを示しています。
- バッテリー充電LED
バッテリーの充電状況を知らせます。
 - < 白く点滅しているときには、バッテリーが充電中です。
 - < 琥珀色に点灯しているときには、バッテリー電源を消費中です。
 - < 琥珀色に点滅しているときには、バッテリーの残量が少なくなっています。
 - < 白く点灯しているときには、バッテリーが完全に充電されています。
- ドライブアクセス
システムがハードディスクドライブにアクセスしているときには、LEDが白く点灯します。
- 電源インジケータ
システムがオンになっていることを知らせます。
 - 点灯しているときには、システムがオンになっています。

- 点滅しているときには、システムがスタンバイモードになっています。

1.3 TVB01の右側

TVB01の右パネルにあるシステムポートには、さまざまな機器を接続できます。各ポートは次のとおりです。IOポートを使用する前に、カバーを開いてください。





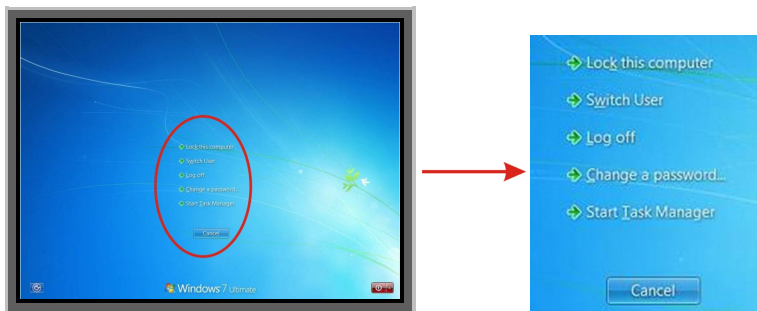
- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 3方向スイッチ | 2. マイクロフォン ジャック |
| 3. ヘッドフォン ジャック | 4. USB 2.0ポート |
| 5. USB 2.0ポート | 6. SIMカードスロット |

※SIMカードにつきましては、オプション搭載品のみに

- 3方向スイッチ

このスイッチを上下にスライドさせてコンテンツを参照し、押すと確定できます。

さらに、4秒以上3方向スイッチを押すと、<Ctrl>+<Alt>+キーを押した時と同じように、特定のユーティリティを実行するために、以下にリストするように安全なログインが表示されます。



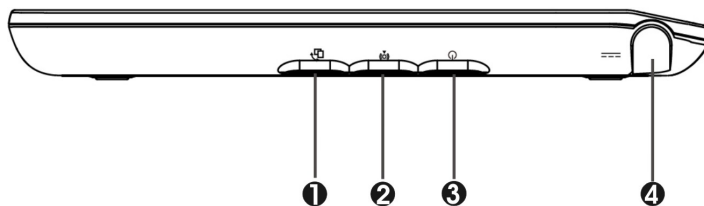
- マイクroフォン ジャック

モノラルサウンドを直接TVB01に録音するために、外付けマイクroフォンを接続できます。

- ヘッドフォン ジャック
ステレオヘッドフォン、電源付きスピーカー、または1/8 インチ電話プラグ付きのイヤフォンセットを接続できます。
- USB 2.0ポート
USB (Universal Serial Bus) ポートには、USB 2.0対応デバイス (プリンタやスキャナなど) を接続できます。
- SIMカードスロット
SIMカードをインストールするには、このカバーを開き、SIMカードをスロットに挿入します。(SIMカードは3.5G HSDPA PCI-E Cardと合わせて使用します)。

1.4 TVB01の左側

TVB01の左側には、下図に示す機能があります。



1. G-Sensorオン/オフ
2. WiFi/3G/Bluetoothボタン
3. 電源オン/再開ボタン
4. DC電源ポート

- G-Sensorオン/オフ
スクリーン回転機能を有効/無効にします。

- WiFi/3G/Bluetoothボタン

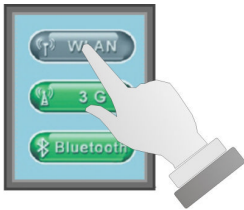
WLAN/3G/Bluetooth機能を有効/無効にします。このボタンを押すと画面にWLAN、3G、Bluetoothのアイコンが表示されますので機能を選択できます。WLAN、3G、またはBluetoothを押すと、クイックアクセス機能が有効または無効になり、それぞれ緑またはグレーに点灯します。



WLAN、3G、Bluetooth機能を
アクティベートします。



WLAN、3G、Bluetooth機能を
終了します。



WLAN機能を終了します。



3G機能を終了します。

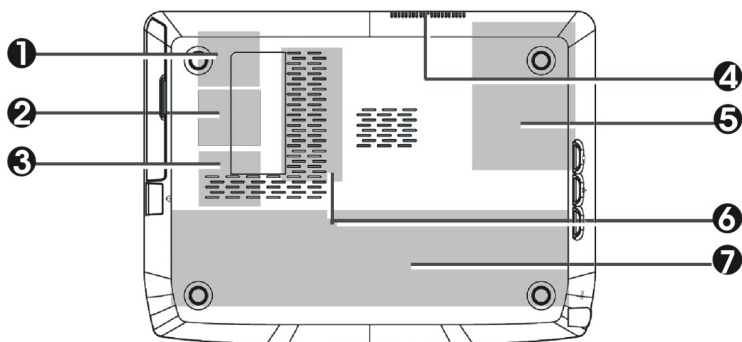


Bluetooth機能を終了します。

- 電源オン/再開ボタン
コンピュータの電源をオン/オフに切り替えたり、サスペンドモードからコンピュータを復帰させます。
- DC電源ポート
AC電源アダプタを接続してTVB01に電源を連続供給したり、バッテリーを充電したりします。

1.5 TVB01の背面

TVB01の背面には次のような機能があります。



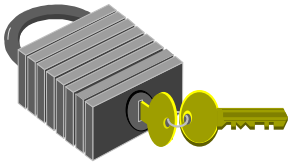
- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 3Gモジュール (オプション) | 2. VGAカードコンパートメント |
| 3. WiFi/Bluetooth Comboコンパートメント | 4. 通気 |
| 5. ハードディスクコンパートメント | 6. メモリコンパートメント |
| 7. バッテリーコンパートメント | |

システムの背面

- **3Gモジュール (オプション)**
このコンパートメントには3.5G HSDPAをインストールします。
3.5G HSDPA (High-Speed Downlink Packet Access) は、High-Speed Packet Access (HSPA) ファミリーの中では 3.5G (第三世代) の mobile telephony communications protocol であり、UMTS (Universal Mobile Telecommunications System) に基づいてデータ転送速度と容量を高めることができます。
- **VGAカード コンパートメント**
このコンパートメントにはVGAカードをインストールします。
- **WiFi/Bluetooth Comboコンパートメント**
このコンパートメントにはWiFi/Bluetooth Comboモジュールをインストールし、WiFi/Bluetooth機能を有効にします。
WiFi/Bluetooth Comboモジュールは、認証された販売店で購入されたものだけをインストールされるよう強くお勧めします。
- **通気口**
TVB01の熱風を排出し、内部を作動温度範囲内に維持します。
- **ハードディスク コンパートメント**
このカバーを開き、他のハードディスクドライブに交換します。
- **メモリ コンパートメント**
SO-DIMMメモリスロットが1つあります。
- **バッテリー コンパートメント**
このコンパートメントにはリチウムイオン電池が装着されています。

TVB01ユーザーガイド

2 はじめましょう



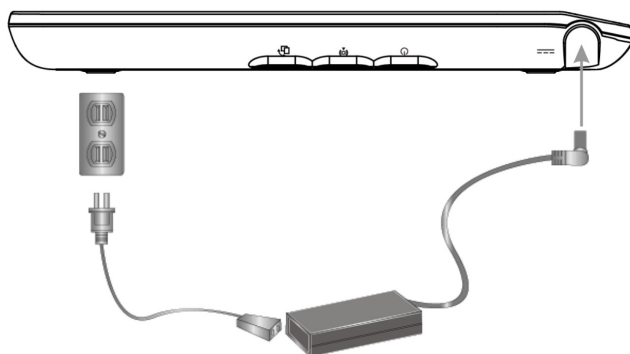
このTVB01は簡単に設定して使用できるように、あらかじめ構成されています。この章では、TVB01を準備してできるだけ早く起動するための手順を説明します。

2.1 電源の接続

ACアダプタはTVB01に電源を供給し、同時に内部のリチウムイオン電池を充電します。このACアダプタは自動スイッチ設計になっており、100VAC～240VACのコンセントに接続できます。

電源アダプタを接続する：

1. AC電源コードをAC電源アダプタの電源ソケットに接続します。
2. AC電源コードのもう片方の端をコンセントに接続します。



3. ACアダプタのコネクタをTVB01の左側にあるDC-INポートに接続します。

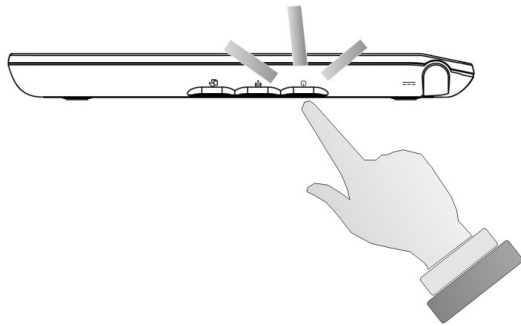
□ 利用可能な場合は常に、ACアダプタをTVB01に接続されるようお勧めします。このようにすると、連続的に電源を供給できるため、停電によるデータの消失を防止することができます。

- • このデバイスへの電源供給には、認証された電源コードをお使いください。
- ご使用になるソケットおよび延長コードが、接続したすべての機器の合計電流以下であることを確認してください。
- コンピュータのお手入れをする前に、外付け電源 (ACアダプタなど) からコンピュータを外してください。

2.2 TVB01の起動

TVB01をオンにする

TVB01の左側に電源/再開ボタンがあります。電源/再開ボタンを押すとコンピュータが起動しますので、電源LEDが点灯したことを確認してください。



数秒後にコンピュータのディスプレイがオンになり、コンピュータがPower On Self Test (POST) を実行してすべてのシステムコンポーネントが正しく起動していることを確認します。テスト中に検出されたエラーは、スクリーンに表示されます。

テストが終了すると、スクリーンに"press <F2> to enter SETUP" (<F2>キーを押すとSETUPに入ります) というメッセージが表示されます。SETUPプログラムの起動方法については、第5章を参照してください。

テストが完了したら、コンピュータはハードディスクからオペレーティングシステムを検出してブートアップします。通常コンピュータにはハードディスクにWindowsオペレーティングシステムがプレインストールされています。

タッチスクリーンの使い方

このコンピュータには高感度レベルを誇るタッチスクリーンが付いています。指でタッチするだけでPCを操作することができます。指先の動きがマウスのポインターとなります。スクリーン上で指先を動かしてコンピュータを操作すると、同時にマウスも使用することができます。

□ ディスプレイの正面やスクリーンの周囲を強く押すと、タッチスクリーンが故障する場合があります。ディスプレイスクリーンの補修とお手入れについては、「6.3 ディスプレイスクリーンの補修とお手入れ」を参照してください。

2.3 デバイスドライバのインストール

TVB01にすでにオペレーティングシステムがインストールされている場合は、コンピュータ内蔵のデバイスを使用できるように必要な

デバイスドライバをインストールされるようお勧めします。ドライバをインストールする前に、オペレーティングシステムと一緒にすべてのドライバが既にインストールされているかどうかを販売店に確認してください。そうでない場合は、以下の手順に従ってください。

光学ディスクドライブからWINDOWS 7をインストールする

USB - スリムコンボ ドライブ (別売り) から直接Windows 7 Home Premiumをインストールする場合は、BIOSセットアップメニューのBootメニューに進みます。矢印キーを使って[USB CDROM]を選択し、"↑"または"↓"を使ってこれを一番上に移動させます。[Exit]メニューに進み、[Exit Saving Changes]を選択します。画面の指示に従ってWindows 7 Home PremiumインストールレーションDVDをUSB - スリムコンボ ドライブ (別売り) に挿入し、インストールを完了します。

ドライバのインストールについての注意：

- ドライバとユーティリティをインストールする前に、コントロールパネルでユーザーアカウントの[ユーザー アカウント制御の設定]アイテムをオフにしてください。
- まずチップセットドライバをインストールしてください。
- ユーティリティをインストールする前に、まずユーティリティ プログラム コンポーネント ドライバをインストールしてください。

すべてのデバイスドライバのインストール

1. [スタート]ボタンを押して、[ファイル名を指定して実行]を選択

します。すると[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスが開きます。

2. [参照]ボタンをクリックし、下記の表を参考にしてディレクトリを指定した後、画面の指示に従ってドライバのインストールを完了します。

デバイスドライバ	ドライバパス
チップセット デバイスドライバ	
	"E:\Win7\x86\Chipset\Setup.exe"
VGA デバイスドライバ	
	"E:\Win7\x86\VGA\Setup.exe"
オーディオ デバイスドライバ	
	"E:\Win7\x86\Audio\Setup.exe"
ユーティリティプログラムコンポーネント デバイスドライバ	
	"E:\Win7\x86\Utility Program Component\Setup.exe"
G-Sensor ドライバ	
	"E:\Win7\x86\SensorDRV\Setup.exe"
ホットキー ユーティリティ	
	"E:\Win7\x86\Hotkey\setup.exe"
AzureWave WLAN/BT デバイスドライバ	
	"E:\Win7\x86\WLAN+BT\setup.exe"
AzureWave WLAN デバイスドライバ	

	"E:\Win7\x86\Wireless Lan\setup.exe"
ETCom 3G デバイスドライバ (オプション)	
	"E:\Win7\x86\3G Module\Autorun.exe"
AzureWave HD ビデオ デバイスドライバ	
	"E:\Win7\x86\HD Video\setup.exe"
AzureWave カメラ デバイスユーティリティ	
	"E:\Win7\x86\CameraUtility\setup.exe"
HannStar タッチパネル デバイスユーティリティ	
	"E:\Win7\x86\HID Calibration\ HID_GUI_V1.exe"

3 TVB01の使い方



この章では、日常のコンピュータ操作で使用する、TVB01に内蔵された標準機能の使い方を説明します。コンピュータとオペレーティングシステムの使い方に慣れていない方は、オペレーティングシステムの使い方についてのマニュアルも読みいただく必要があります。オペレーティングシステムに慣れることは非常に大切なことです。以下の章では、基本機能のほかに、その他の便利な機能も紹介します。

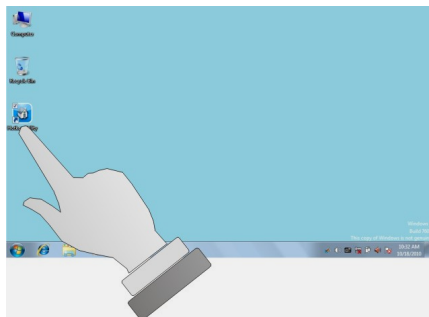
3.1 機能制御を行うスクリーン ホットキー ユーティリティ

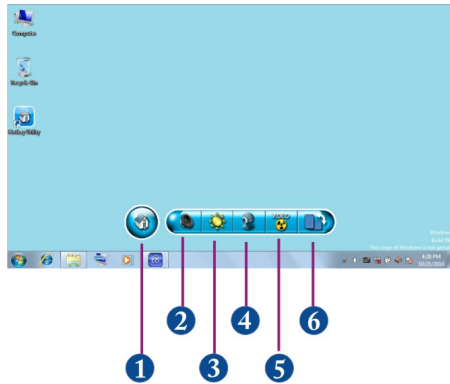
このTVB01には、スクリーン上に特殊機能がプログラムされたさまざまな機能コントロールが内蔵されています。コマンドを実行するときには、スクリーン上に指を置いてください。

特殊機能コントロール

このTVB01には、次のような便利な特殊機能のホットキーユーティリティがスクリーン上に準備されています。

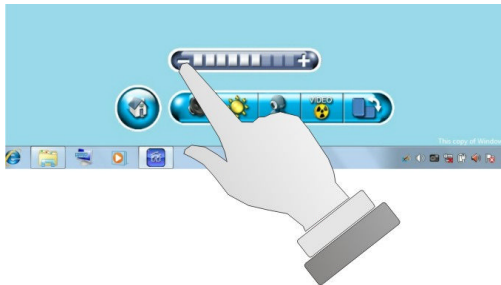
1. ホットキーユーティリティを指でダブルクリックすると、その機能バーが表示されます。



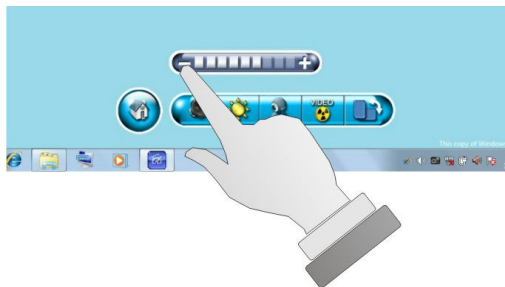


1. デスクトップを表示
2. 音量
3. 輝度
4. ウェブカメラ
5. ビデオデコーダー
6. スクリーンの回転

- デスクトップを表示
ウィザードを非表示にするには、ウィンドウをタスクバーに最小化するボタンを押します。
- オーディオの音量を調整するには音量コマンドを押します。すると音量調整バーが表示されますので、音量を自由に調整することができます。



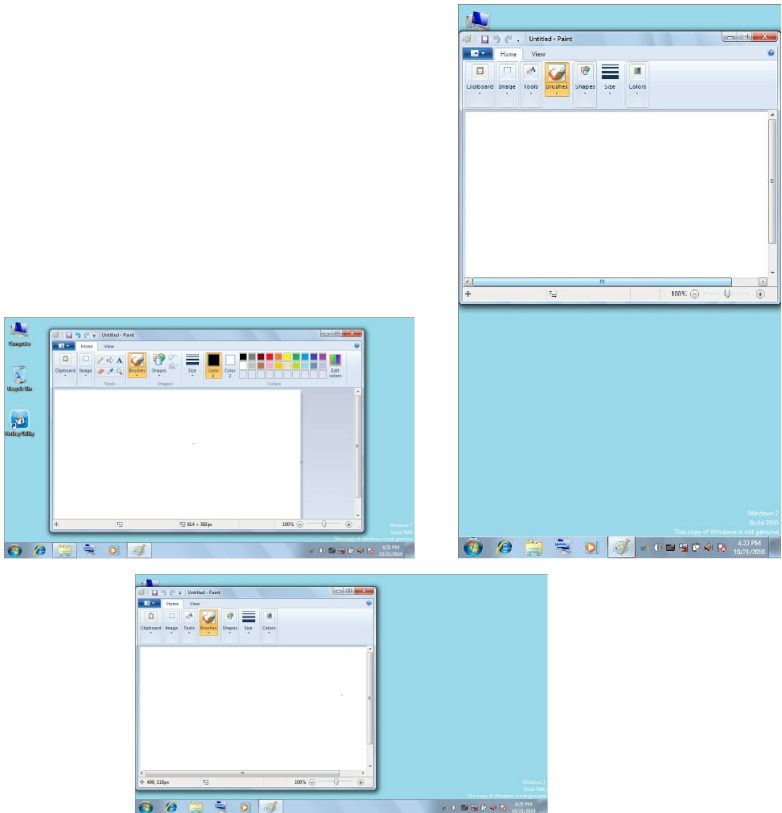
- スクリーンの輝度を調整するには輝度コマンドを押します。すると輝度調整バーが表示されますので、輝度を自由に調整することができます。



- ウェブカメラ機能を有効または無効にするには、ウェブカメラコマンドを押します。
- ビデオデコーダー機能を有効または無効にするには、ビデオデコーダーコマンドを押します。
- スクリーン回転機能を有効または無効にするには、スクリーン回転コマンドを押します。

スクリーンの回転について

TVB01はスクリーンをあなたの方向に向けたままでその方向を変えることができます。これを行うには、TVB01を垂直にして右に90°ずつ回転させます。するとG-Sensorが回転を認識するため、スクリーンをあなたに向けたままの状態を表示方向を変えることができます。



3.2 スクリーンディスプレイの構成

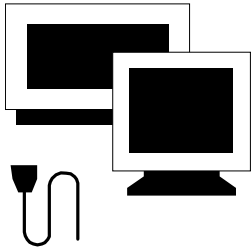
有効なディスプレイ構成

以下の表は、ディスプレイスクリーンまたは外付けモニタ (CRT) を使用するとき設定できるディスプレイ解像度をまとめたものです。

ディスプレイ	有効解像度	最大色数
ワイドスクリーン 10.1" WSVGA LCD	1024 x 600	1,600万色
CRTのみ	1400 x1050 (最大解像度)	1,600万色

- 800x600 のパネル解像度は90度では使用できません。これはマイクロソフト社のDirectX ランタイム ライブラリの制限によるものです。
- 65,536色または64K色は16ビット ハイカラーに相当し、1,600万色または16M色は32ビット フルカラーに相当します。
- スクリーンのホットキーユーティリティを使ってディスプレイをLCDのみ、CRTのみ、またはLCDとCRTの同時表示に切り替えることができます。

4 周辺機器の接続

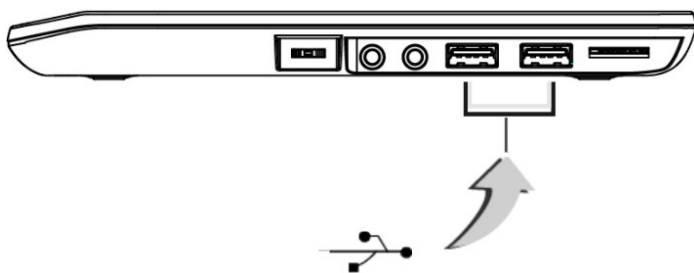


この章では、TVB01に周辺機器を接続する方法を説明します。TVB01にはプリンタやマウス、外付けモニターやキーボード、その他の周辺機器を接続できます。これらの周辺機器の使い方は、この章で説明する手順に従ってください。

4.1 USBポートの使い方

USB (Universal Serial Bus) は、TVB01 にさまざまなデバイス (プリンタ、マウス、キーボード、ストレージデバイス、デジタルカメラ、ビデオチャット用カメラなど) を接続するためのハードウェアインターフェイスです。最大 127 台のデバイスを接続できます。さらに、USB のホットスワップ機能により、システムの電源を切らなくてもデバイスを接続したり、外したりすることができます。

Microsoft、HP、Compaq、Intel、Agere、NEC、Philip の 7 社が、USB 2.0 の標準化を促進する USB-IF のメンバー企業です。12Mbps でデータを転送する USB 1.1 デバイスと比較して、USB 2.0 は最大 480Mbps (メガビット/秒) で転送します。したがってお分かりのように、USB 2.0 は USB 1.1 の 40 倍の速さでコンピュータと周辺機器の間でデータを転送することができます。USB 2.0 は完全に後方互換がありますので、USB 2.0 準拠システムでも USB 1.1 デバイスを使用することが可能です。



- 操作条件によっては、システムリソースをUSBポート用に開放するために、他のポートを無効にする必要があるかもしれません。

□ USBバスは各ポートを介して0.5 amps (500ミリアンペア) を供給します。省エネのために、USBデバイスを使用しないときには外しておいてください。

4.2 SIMカードスロットの使い方

TVB01にはSIMカードに対応する3.5G HSDPAモジュールが用意されています。

※SIMカードにつきましては、オプション搭載品のみに対応

となっておりますので、カードを挿入致しましても御使用出来ません。御注意下さい。

SIMカードの挿入と取り出し

SIMカードの挿入

SIMカードをスロットに挿入する際は、SIMカードの向きに十分注意してください。カードは正しい方向にしか挿入できません。カードをスロットに挿入できない、またはカードを挿入したがTVB01が識別しない場合は、一旦カードを取り出してもう一度挿入し直してください。カードとスロットの故障の原因となるため、カードを無理にスロットに押し込まないでください。

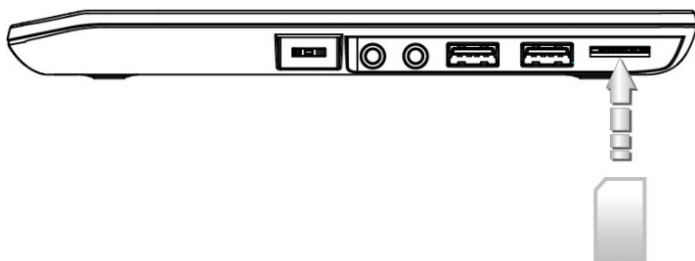
SIMカードをSIMカードスロットに挿入する：

1. TVB01をオフにします。

□ SIMカードを挿入するときには、TVB01の電源を切る必要があります。そうしなければ、両デバイスが故障したり、デバイスの寿命が短くなります。

2. TVB01の右側にあるI/Oカバーを開きます。

3. TVB01の右側にあるSIMカードスロットに、SIMカードを挿入します。カードのラベル面が上を向くように挿入してください。
4. カードがほぼスロット内に格納されたら、ゆっくりと確実にカードを押してTVB01に挿入します。SIMカードは自動的に検出されます。
5. TVB01の電源を入れます。



SIMカードの取り出し

SIMカードを取り出すには、直接カードを引き出します。SIMカードスロットには取り出しボタンはありません。

SIMカードをSIMカードスロットから取り出す：

1. TVB01をオフにします。
2. SIMカードを直接引き抜きます。カードの端を持ってゆっくりとスライドさせて、スロットから取り出してください。

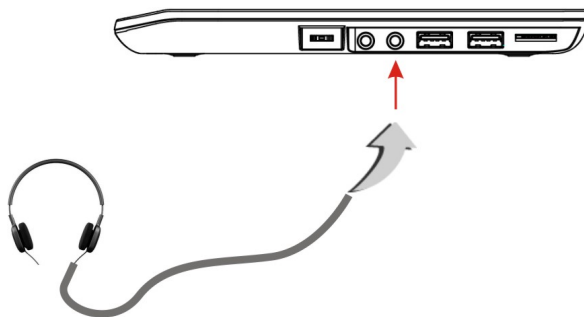


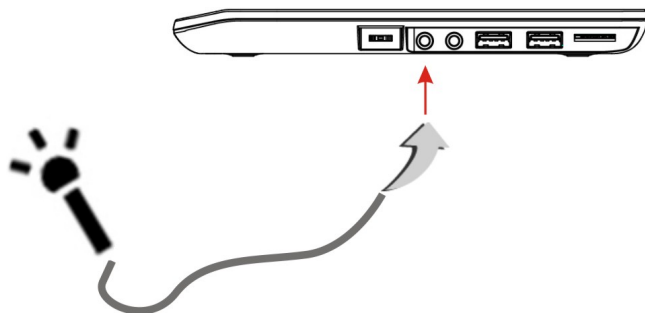
4.3 外付けオーディオシステムの使い方

TVB01の右側には内蔵のオーディオポートがあります。マイクロフォンジャック、イヤフォン、電源付きスピーカーを接続できます。

オーディオジャックを接続する：

1. 使用したいオーディオポート (マイクロフォン、ヘッドフォン) の位置を確認します。
2. システムの右側にあるポートにジャックを挿入します。





- 外付けスピーカーを使用するとサウンドのひずみやフィードバックが生じる場合は、音量を下げてください。マイクロフォンとスピーカーの距離が近すぎるために生じる不具合がありますので、外付けオーディオ機器をこのコンピュータから離すことで解消できる場合があります。

4.4 ワイヤレスLANの使い方

このコンピュータには802.11 b/g/nワイヤレスLANモジュールが内蔵されています。IEEE 802.11b規格は11 Mbpsワイヤレス接続速度に対応しています。ただしIEEE 802.11g/802.11nはそれぞれ54Mbpsおよび150Mbpsのワイヤレス接続速度に対応しており、これよりも遅い802.11bにも対応しています。

5 TVB01のお手入れ



このTVB01にはモバイルコンピューティング技術における最新の機能が備えられています。コンピュータを正しく補修し、お手入れすることにより、コンピュータの性能と信頼性を飛躍的に向上させることができます。

TVB01のクリーニング

TVB01は定期的にクリーニングを行うことで、寿命を向上させることができます。このセクションを良くお読みになり、正しい方法でTVB01のお手入れを行ってください。お手入れを行う場合は、柔らかい毛羽立ちの少ない布をマイルドな洗剤液で少し湿らせるか、市販のコンピュータお手入れキットのアイテムを使ってください。

アルコール、石油系溶剤、または研磨剤などは絶対に使用しないでください。またコンピュータケースやスクリーンに直接液体をスプレーしないでください。ディスプレイスクリーンが汚れたり、ホコリが付着したりした場合は、まずマイルドなガラスクリーナーを柔らかく清潔な毛羽立ちの少ない布に取り、やさしく拭いてください。絶対にスクリーンの表面に直接液体を吹きかけないでください。ペーパータオルでディスプレイスクリーンを拭くことはお止めください。ディスプレイスクリーンにキズが付きます。